

2024 年度 横浜みどりアップ計画実績報告書
【別冊】

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

横浜みどりアップ計画の評価・提案

骨子案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2024 年度報告書

横浜みどりアップ計画市民推進会議

2025 年〇月

目 次

1 はじめに	1
2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について	2
3 市民推進会議 2024～2025 年度の活動実績	3
(1) 活動の概要	
(2) 活動の詳細内容	
ア 市民推進会議（全体会議）	
イ 施策別専門部会	
ウ 広報・見える化部会	
エ 調査部会（現地調査）	
4 みどりアップ計画の評価・提案	10
◆計画の体系	
(1) 計画の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	11
施策 1 まとまりのある樹林地の保全・活用	
(2) 計画の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる	13
施策 1 農に親しむ取組の推進	
施策 2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	
(3) 計画の柱 3 市民が実感できる緑や花をつくる	16
施策 1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	
施策 2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	
(4) 効果的な広報の展開	19
市民の理解を広げる広報の展開	
5 市民推進会議委員名簿	21
6 市民推進会議委員からのコメント	24
7 広報・見える化部会からの情報提供	25

1 はじめに

座長によるメッセージ

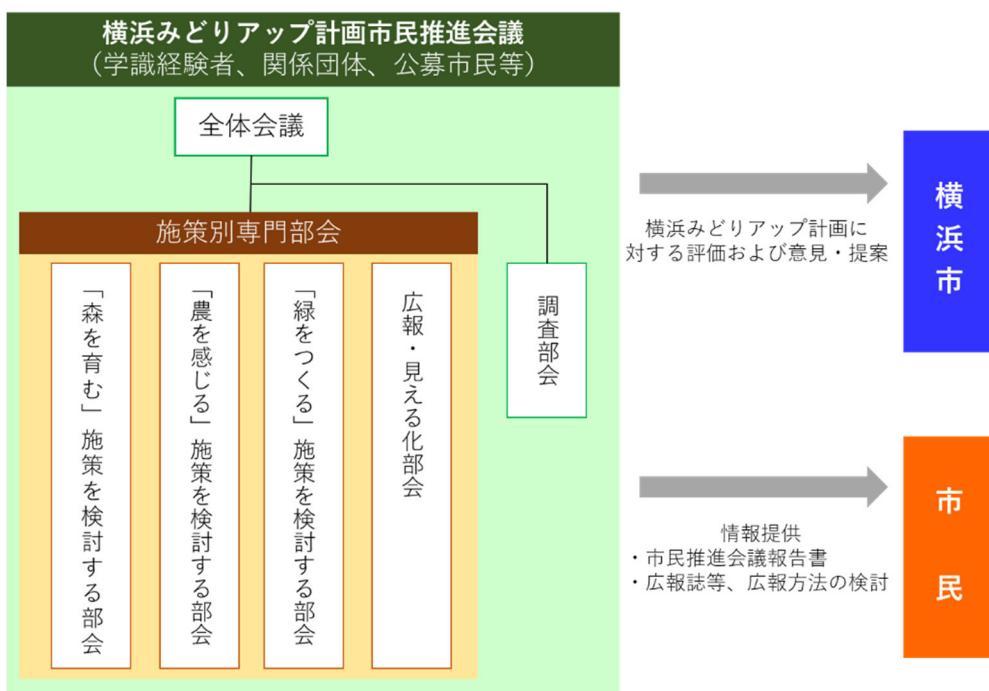
横浜みどりアップ計画市民推進会議
座長 池邊 このみ

2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、市民参加の組織により、横浜みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民への情報提供等を行うことを目的として、2009年に設置され、2012年からは条例設置の附属機関に位置付けられました。これまでに全体会議や施策別専門部会の開催に加え、参加市民を公募したオープンフォーラムや現地調査を実施し、市民意見の聴取にも努め、計画の評価・提案を行ってきました。

横浜みどりアップ計画を推進するうえで、市民推進会議の取組は大きな役割を果たしており、4期目の横浜みどりアップ計画についても継続して活動することとなりました。

2024年度からは新たな委員も含め、学識経験者や関係団体、町内会・自治会代表、公募市民の計17名で活動しています。(○頁に委員名簿を掲載)



横浜市附属機関設置条例第2条第2項本文:

附属機関(※)の担任する事務は、別表担任事務の欄に掲げるとおりとする。

別表(抜粋)

執行機関	附属機関	担任事務	委員の定数
(中 略)			
市長	横浜みどりアップ計画市民推進会議	横浜市域の樹林地及び農地の保全並びに 緑化の推進を図ることを目的とする横浜み どりアップ計画に係る施策及び事業につい ての情報提供、評価等に関する事務	20人以内
(以下省略)			

※附属機関とは、法律又は条例に基づき設置する機関で、市長等の執行機関の要請により、行政執行のために必要な審査、審議、調査等を行うことを職務とする機関。

3 市民推進会議 2024～2025 年度の活動実績

(1) 活動の概要

ア 横浜みどりアップ計画に対する評価及び意見・提案

2024年度から始まった「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」の内容や進捗を確認しながら意見交換をし、本報告書に評価・提案をとりまとめました。

また、みどりアップ計画の取組について現地視察を行い、現状の検証や関係団体の皆さまと意見交換を行いました。

イ 市民への情報提供

「みどりアップ計画」や「みどり税」について幅広く市民の皆さまに知っていただくため、情報提供のあり方について検討し、〇〇〇〇〇〇しました。

本会の様子

取材の様子

【2024 年度報告書発行までの活動実績】(予定)

2024年度報告書発行にむけた活動実績		市民への情報提供
(R6) 10月	第4回横浜みどりアップ計画市民推進会議 第24回調査部会	
11月		
12月		
(R7) 1月		第57回広報・見える化部会
3月	第43回横浜みどりアップ計画市民推進会議	
4月		第58回広報・見える化部会
5月	施策別専門部会 第17回「森を育む」 第17回「農を感じる」 第17回「緑をつくる」 施策を検討する部会 施策を検討する部会 施策を検討する部会 第59回広報・見える化 部会	
6月		
7月	第44回横浜みどりアップ計画市民推進会議	
8月		
9月		
10月	2024年度報告書発行	

(2) 活動の詳細内容

ア 市民推進会議(全体会議)

市民推進会議の全体会議において、部会の構成や調査の実施など年間の活動内容を確認し、横浜みどりアップ計画の内容、進捗状況について説明を受けて、質疑応答、意見交換を行いました。

(ア) 第42回市民推進会議 (2024年10月25日)

- ・座長、副座長の選任について
- ・横浜みどりアップ計画について
- ・横浜みどりアップ計画市民推進会議について



(イ) 第43回市民推進会議 (2025年3月25日)

- ・横浜みどりアップ計画5か年の進捗状況について
- ・横浜みどりアップ計画実績報告書骨子案について
- ・市民推進会議 2023年度報告書骨子案について

(ウ) 第44回市民推進会議 (2025年○月○日)

- ・○○○○○○○
- ・○○○○○○○

本会の様子

イ 施策別専門部会

計画の柱ごとに施策別専門部会を設置し、事業分野ごとに詳細に説明を受け、意見交換を行いました。

※2014年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、「効果的な広報の展開」事業に対する評価・提案については、「広報・見える化部会」にて実施しています。

(ア) 第18回「森を育む」施策を検討する部会(2025年○月○日)

- ・「森を育む」施策の評価・提案について

(イ) 第18回「農を感じる」施策を検討する部会(2025年○月○日)

- ・「農を感じる」施策の評価・提案について

(ウ) 第18回「緑をつくる」施策を検討する部会(2025年○月○日)

- ・「緑をつくる」施策の評価・提案について

「森を育む」施策を検討する
部会写真

「農を感じる」施策を検討す
る部会写真

「緑をつくる」施策を検討す
る部会写真

「森を育む」施策を検討する部会

「農を感じる」施策を検討する部会

「緑をつくる」施策を検討する部会

ウ 広報・見える化部会

2014年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、施策別専門部会として横浜みどりアップ計画の広報について評価・提案を行うとともに、横浜みどりアップ計画や横浜みどり税についての情報提供のあり方の検討や情報発信を行っています。

2024年度からは、これまでの紙媒体での広報誌に代わる新たな情報発信のあり方を検討し、横浜市ホームページ上に「私の見つけたみどりアップ」を公開しています。

委員自ら横浜みどりアップ計画の取組現場を取材し、市民目線の現場リポートをお届けしています。

(ア) 第57回広報・見える化部会(2025年1月23日)

- ・部会長の選任について
 - ・市民目線での情報提供のあり方について

(1) 第 58 回広報・見える化部会(2025 年4月〇日)

- ○○○○○○

(ウ) 第59回広報・見える化部会(2025年〇月〇日)

- ○○○○○○

(I) 第 60 回広報・見える化部会(2025 年〇月〇日)

- 

取材の様子の写真

広報・見える化部会写真

○○○○○○○○○○○○○○(HP標題)

《公開した記事》

7-2-8

HP 画像

工 調査部会(現地調査)

みどりアップ計画の取組を行っている現場を視察し、市職員や地域で活動されている方々と意見交換をしました。

＜第24回調査部会＞

日 時 2024年10月25日（金） 午後1時00分～午後5時00分

参 加 者 市民推進会議委員 13名

調査場所

- ・中川緑と水と歴史をつなぐ会（都筑区）
- ・寺家ふるさと村（青葉区）
- ・寺家ふるさとの森（青葉区）

柱1

森の多様な機能に着目した 森づくりの推進 等



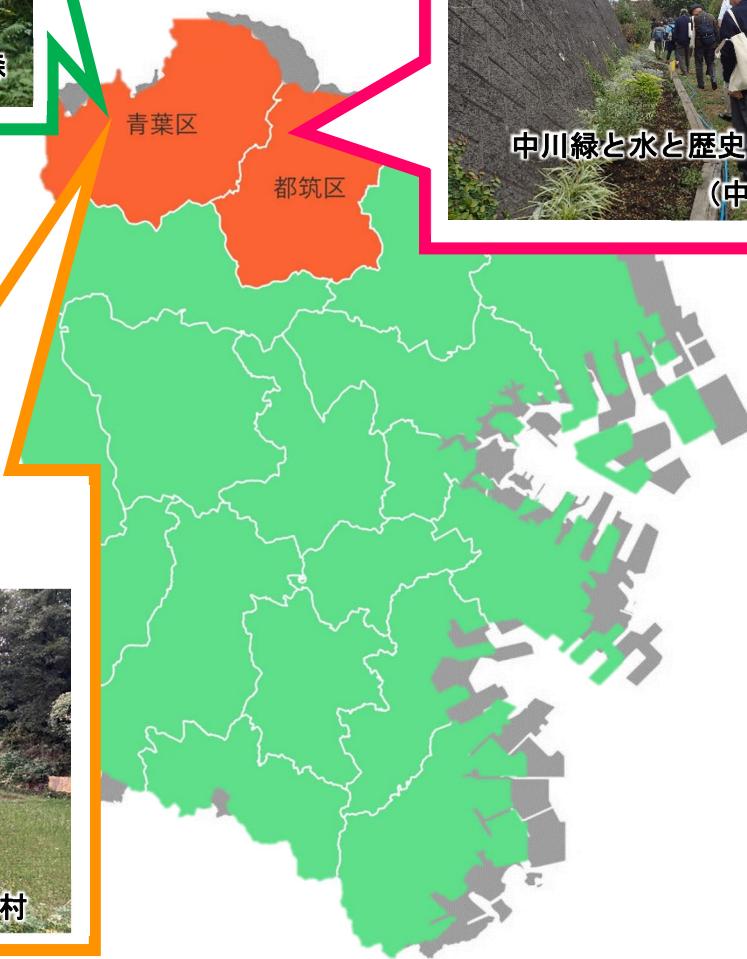
柱3

地域緑のまちづくり



柱2

市民が農を楽しみ支援する 取組の推進 等



(ア) 中川西地区(中川緑と水と歴史をつなぐ会)

都筑区で、市民との協働により地域の緑化を進めている現場を見学し、中川緑と水と歴史をつなぐ会の方々から、緑化計画や活動の概要、これまでの取組などについて説明を受けました。“地域に愛される回廊「緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり」”を目標に、地域や大学とも協力して地域の魅力アップに取り組んでいました。

みどりアップ計画の取組 「地域緑のまちづくり」

推進団体名：中川緑と水と歴史をつなぐ会

計画名：早淵川・老馬谷ガーデンを中心とした緑と水と歴史をつなぐ
散歩道づくり

助成期間：令和4年度～令和6年度



早淵川沿いの散歩道



隣接する住宅と協力した植栽づくり



活動団体からの説明の様子



オリジナルのプレート

委員からの声

- 住民の方々の努力やつながりがあってこそ、維持できるのだと実感した。
- このような取組を続けていくためにも、今後は各組織の連携、市としてのサポート体制の検討が必要だと感じた。
- 助成前から活動しており、長い歴史を経て“緑”が保全されてきたことを実感した。
- 戸建て住宅地や河川敷等多種多様な植栽地で、場所に応じた対処をされていることにびっくりした。
- 宿根草を使う、植栽に立体感を出す等の工夫をするとさらに景観が良くなると感じた。

(イ) 寺家ふるさと村

青葉区西部に位置する「寺家ふるさと村」を視察しました。

昔ながらの横浜の田園風景を次世代に残すための取組や、地域活性のための工夫等について説明を受けました。

みどりアップ計画の取組：市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・総合案内所「四季の家」を農を楽しむ拠点とし、苗の植え付けや農産物の収穫などを行う農体験教室などを実施

みどりアップ計画の取組：水田の保全

・良好な水田景観保全のための水路の整備支援

みどりアップ計画の取組：農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援



雑木林の丘に挟まれた「谷戸田」



担当者からの説明の様子

委員からの声

- 里山や農業について、首都圏ではあまり知らない方々も多いので、こういう場所を広報することが重要だと考える。
- 稲作あってこそその風景なので、そのことも市民が理解しやすいような広報が必要ではないか。
- 谷戸田のある里山の風景がすばらしい。
- 周辺が都会化していく中で、次世代まで今の自然のままの姿を残していくためには、地権者、地域住民、行政の協力が不可欠だと感じた。
- 田んぼ、畑、果樹園と、ある意味横浜の農業の魅力をワンスポットで体感できる場所。その強みを広報にも生かしてほしい。
- お食事処や川沿い近くにサイクルラックがあると、ロードバイクが来やすくなり、知名度向上や地場産食材を食べる機会につながるのではないか。
- 良好な農景観や原風景の維持には、農業経営の維持発展が不可欠であると感じた。
- 四季の家内の、生き物や自然に関する分かりやすい展示が良かった。

(ウ) 寺家ふるさとの森

寺家ふるさと村内にある市民の森、「寺家ふるさとの森」を視察し、森の特徴や維持管理の方法について説明を受けました。

みどりアップ計画の取組：森の多様な機能に着目した森づくりの推進

- ・森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、森の維持管理を推進

みどりアップ計画の取組：森に関わるきっかけづくり

- ・森の情報発信の場である「ウェルカムセンター」として、総合案内所「四季の家」を運営



原風景の残る森の内部



森の縁辺部

委員からの声

- 寺家ふるさとの森は自然そのままの森がそこにあると感じた。
- 平日の夕方なのに、散歩の方々が多くいらっしゃるのはびっくりした。各地域にもこのような場所ができたら素敵なまちづくりになるのでは。
- さまざまな企画を通して森に入り自然と触れ合う機会を多く設けるなど、森を育むというコンセプトに沿った取組であると感じた。
- さまざまな企画を通して森に入り自然と触れ合う機会を多く設けるなど、森を育むというコンセプトに沿った取組であると感じた。
- この森について分かるような情報発信等、現地に何か工夫があるとうれしい。
- 愛護会が無いとのことだが、日常の保全管理を市で行うのは現実的ではない気がする。日常の保全管理体制を整備することが課題であると感じた。
- ふるさと村制度と市民の森制度をうまく組み合わせて谷戸やため池を保全していることは素晴らしい。

4 横浜みどりアップ計画の評価・提案

市民推進会議では、横浜みどりアップ計画の柱1「市民とともに次世代につなぐ森を育む」、柱2「市民が身近に農を感じる場をつくる」、柱3「市民が実感できる緑や花をつくる」の施策と、横浜みどりアップ計画を市民の皆さんに周知するための「効果的な広報の展開」について、現地調査で活動団体などからいただいた意見も踏まえて、評価・提案を行いました。

◆計画の体系

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

施策1

まとまりのある
樹林地の保全・活用

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

事業② 良好的な森の育成

事業③ 森に関わる多様な機会の創出

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

施策1

農に親しむ
取組の推進

事業① 良好的な農景観の保全

事業② 農とふれあう場づくり

施策2

「横浜農場」の展開による
地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

施策1

市民が実感できる
緑や花の創出・育成



事業① まちなかでの緑の創出・育成

施策2

ガーデンシティ横浜の
更なる推進

事業② 緑や花があふれる地域づくり

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

(1)計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な役割や機能が発揮されるよう、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。



◆施策1についての評価・提案

事業①について

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

事業②について

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

事業③について

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

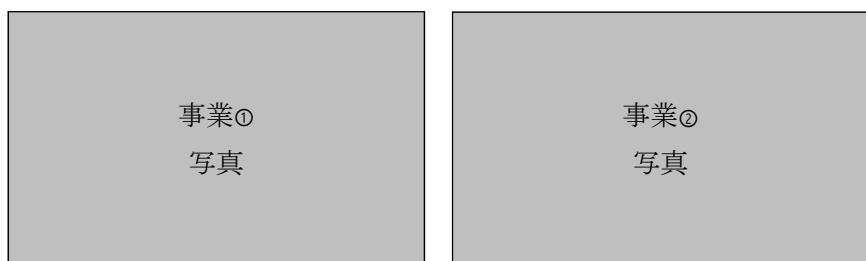
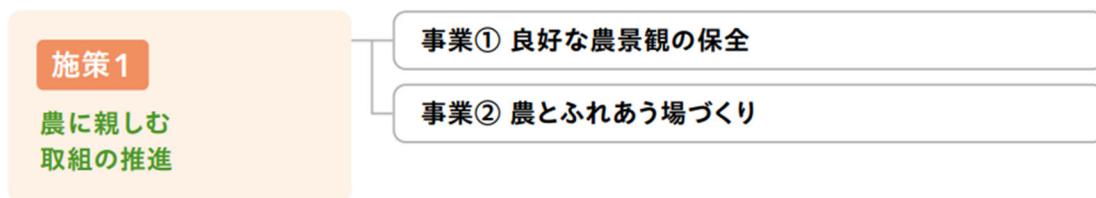
「森を育む」施策を検討する部会 部会長コメント

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○○ ○○

(2)計画の柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割や機能に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。



◆施策1についての評価・提案

事業①について

「農を感じる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

事業②について

「農を感じる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

施策2

「横浜農場」の展開による
地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

事業③

写真

事業④

写真

◆施策2についての評価・提案

事業③について

「農を感じる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

事業④について

「農を感じる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

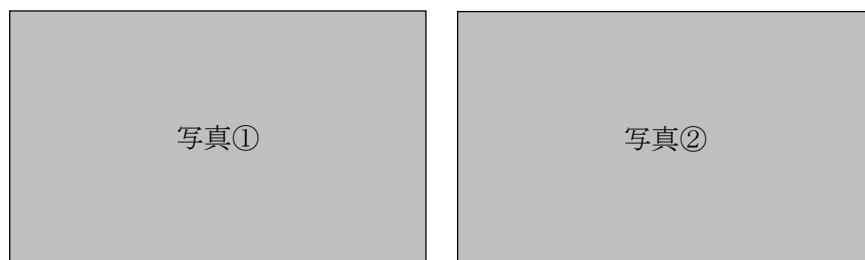
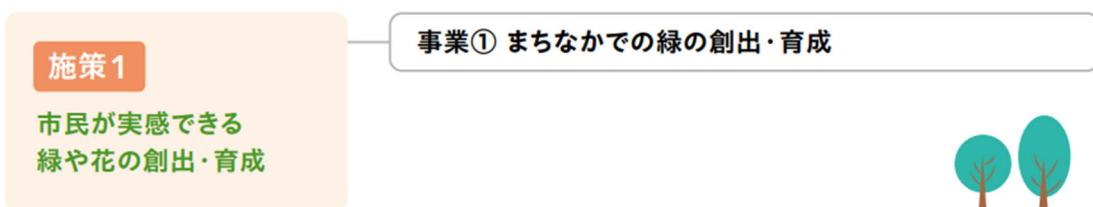
「農を感じる」施策を検討する部会 部会長コメント

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○○ ○○

(3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、市民が実感できる緑の創出に取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。



◆施策1についての評価・提案

「緑をつくる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

施策2

ガーデンシティ横浜の
更なる推進

事業② 緑や花があふれる地域づくり

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

事業①
写真

事業②
写真

事業③
写真

◆施策2についての評価・提案

事業①について

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

事業②について

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

事業③について

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

〇〇 〇〇

(4)効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者の皆様に理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を進めていきます。

写真①

写真②

写真③

◆施策についての評価・提案

広報・見える化部会で評価・提案内容を検討

広報・見える化部会 部会長コメント

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○○ ○○

5 市民推進会議委員名簿

横浜みどりアップ計画市民推進会議 名簿(2024年10月)

(50音順・敬称略)

役職	氏名	区分	備考
	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学大学院 教授
	池邊 このみ	学識経験者	千葉大学 グランドフェロー
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
	内海 宏	学識経験者	(株)地域計画研究所 代表取締役
	大竹 千広	公募市民	
	金井 順	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	菊池 賢児	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
	北原 まどか	公募市民	
	小金井 進	関係団体	横浜農業協同組合 営農部長
	酒井 智規	公募市民	
	竹内 智子	学識経験者	千葉大学大学院 准教授
	飛田 尚弥	公募市民	
	野路 幸子	関係団体	横浜市中央農業委員会 委員
	樋上 祐造	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

(50音順・敬称略)

「森を育む」施策を検討する部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
	酒井 智規	公募市民	
	飛田 尚弥	公募市民	
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

「農を感じる」施策を検討する部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学大学院 教授
	大竹 千広	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	小金井 進	関係団体	横浜農業協同組合 営農部長
	野路 幸子	関係団体	横浜市中央農業委員会 委員

「緑をつくる」施策を検討する部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
	金井 順	公募市民	
	菊池 賢児	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
	北原 まどか	公募市民	
	竹内 智子	学識経験者	千葉大学園芸学研究院 准教授
	樋上 祐造	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長

広報・見える化部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
	大竹 千広	公募市民	
	金井 順	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	北原 まどか	公募市民	
	酒井 智規	公募市民	
	飛田 尚弥	公募市民	
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、縁について日ごろ各委員が感じたことについて、委員の皆さまからもコメントをいただきました。

委員ごとにコメントをいただきます。

7 広報・見える化部会からの情報提供

Web 等の実績



横浜みどりアップ 葉っびー

2025年〇月発行
横浜みどりアップ計画市民推進会議